

# (仮称) 第3次都心まちづくり計画検討会

## <第一部会>

# 第3回 居心地が良く歩きたくなる都心まちづくり検討部会

2025年2月12日

札幌市 都心まちづくり推進室



1 これまでの検討会・検討部会の振り返り P.4～6



2 計画骨子（案） P.7～15



論点1



3 重点取組路線の設定の検討 P.16～19



論点2



4 評価指標（案） P.20



論点3

## 本日、ご議論いただきたいこと

【論点1】 計画骨子(案)について・・・P.7～15

→ 目標、基本方針、取組の方向についてのご意見 など

【論点2】 重点取組路線の設定の検討について・・・P.16～19

→ 評価の視点や評価結果(案)へのご意見 など

【論点3】 評価指標(案)について・・・P.20

→ 目標を評価するための指標へのご意見 など

# 1 これまでの検討会・検討部会の振り返り

## (1) 見直しのスケジュール

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会			①(6/6) ▼			②(9/17) ▼						③(2/27予定) ▼
第一部会					①(8/29) ▼ 課題認識、 検討の視点				②(12/4) ▼ 目標、基本方針、 取組の方向		③(今回) ▼ 骨子案	議会 中間報告

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会			④ ▼		議会中間報告	⑤ ▼	庁内合意形成			パブコメ	⑥ ▼	策定
第一部会		① ▼ 素案			② ▼ 計画案、推進体制							

部会の検討テーマ（案）		
令和6年度	第1回	課題認識、検討の視点
	第2回	目標、基本方針、取組の方向
	第3回	骨子案
令和7年度	第1回	素案
	第2回	計画案、推進体制

# 1 これまでの検討会・検討部会の振り返り

## (2) 第2回検討部会での主な意見

○ 第2回検討部会（12/4開催）での主な意見は以下のとおり。これまでの意見も踏まえて引き続き検討を進める。

### 1 「目標」について

#### 【主な意見】

- ① 浸透しやすい**フレーズ**や**絵**にするなど、多くの人に分かりやすくするとよい。

#### 【主な対応】

- ① 目標の修正案及び目指す将来像としてパース案を提示。他の目標の検討状況等を踏まえて継続検討

### 2 「魅力的なストリークの形成」について

#### 【主な意見】

- ① **緑化率（緑被率、緑視率）**を高めることが重要。
- ② **都心のみどりづくり方針**との連携も重要。
- ③ 民地側から**道路側に開いた空間**にしようという方針も重要。

#### 【主な対応】

- ① 基本方針に反映
- ② 同方針における各路線の位置付けを踏まえて検討
- ③ 基本方針に反映

### 3 「機能的な交通環境の構築」について

#### 【主な意見】

- ① 将来を見据えた**駐車場のあり方**の検討も必要。
- ② **新幹線駅**から目的地まで円滑に移動できるように**移動経路**や**案内表示**の充実が必要。

#### 【主な対応】

- ① 基本方針に反映
- ② 重点取組路線の検討の要素として考慮

### 4 「戦略的なマネジメント」について

- ① 関係者が**目指す姿を共有**し、**対話する仕組み**が重要。
- ② 自己表現ができる空間や交流が発生する**仕掛け**があるとよい。
- ③ 「**誰がやるのか**」を明確にすることが重要。
- ④ 公開空地の居心地を良くするには、特に冬のメンテナンスの状態が重要であり、**持続可能な仕組み**が必要。

- ① 計画全体の推進体制として引き続き検討
- ② 基本方針に反映
- ③ 計画全体として関係主体の役割の明確化を引き続き検討
- ④ 基本方針に反映

（次頁に続く）

# 1 これまでの検討会・検討部会の振り返り

## (2) 第2回検討部会での主な意見

○ 第2回検討部会（12/4開催）での主な意見は以下のとおり。これまでの意見を踏まえて引き続き検討を進める。

### 5 骨格軸・展開軸について

#### 【主な意見】

- ① **軸などで囲まれる街区**で大きなブロックを構成。これは歩行距離（約300m）としても適する。
- ② 軸が回遊動線としての**外郭をなす**と考えることもできる。
- ③ 各軸は、それぞれ異なる名称もあり、**異なる性質**を持つ。
- ④ 軸には、両側のブロックを**接着させるための役割**がある。軸が魅力的になれば、**隣接するブロックに回遊**していく。また、縦断面だけではなく、民地側も含めた**横断面で考える**とよい。

#### 【主な対応】

- ① 左記を踏まえ、重点取組路線を引き続き検討（P. 16～19）
- ② 同上
- ③ 同上
- ④ 同上

### 6 通りの機能分担について

#### 【主な意見】

- ① **広場、駐車場、荷さばき、自転車などの視点**も重要。
- ② **目的地同士を結ぶ**視点も重要。**軸を官民連携で象徴的なストリートにする**ことで更に価値が高まり、新たな目的地もできる。
- ③ 「歩く」だけではなく、「**立ち寄りたくなる**」という考え方も必要。民間側との連携が重要。
- ④ **自転車、新たな公共交通などでまちなかを周遊**してもらおうという考えもある。
- ⑤ **バスの発着の動線**も重要。
- ⑥ 通行機能と滞在機能は**明確には分かれ**ない。

#### 【主な対応】

- ① 左記を踏まえ、重点取組路線を引き続き検討（P. 16～19）
- ② 同上
- ③ 同上
- ④ 同上
- ⑤ 同上
- ⑥ 今回、各機能について議論

### 7 その他、全般的な意見

#### 【主な意見】

- ① **計画を実現していく仕組み**が必要（人材、費用、エリアの関係者間の連携など）
- ② **誰が、いつ行うか**の整理が必要（短期／中長期、民間／行政の視点など）
- ③ 個別路線の議論では、沿道施設に**どのような人がどのくらい訪れているか**という視点も重要。
- ④ **歴史的な背景**を踏まえて、次の時代にどうしていくかという視点もあるとよい。
- ⑤ カナダのエドモントンの**ウィンターデザインガイドライン**を参考にするとよい。

#### 【主な対応】

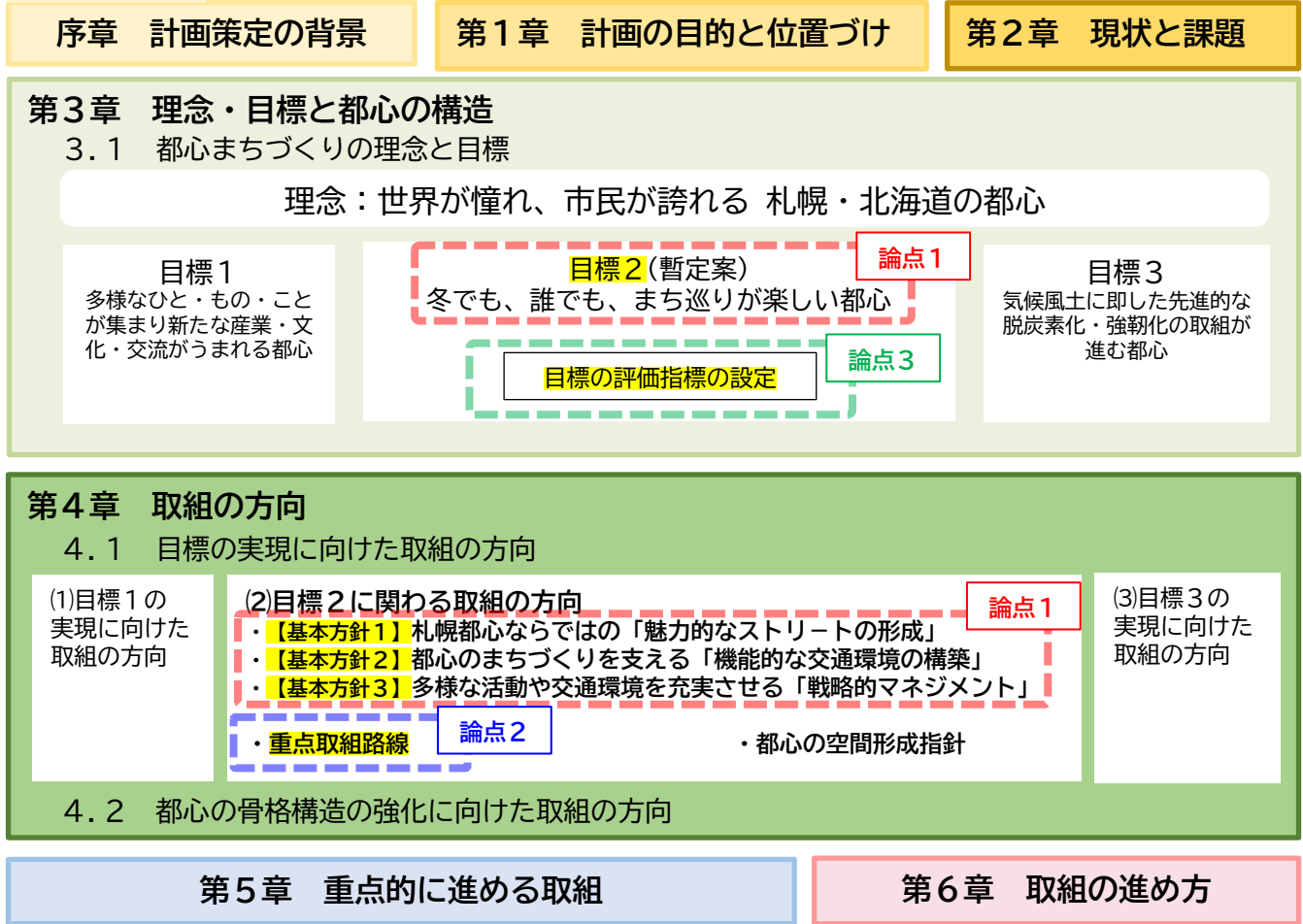
- ① 計画全体の推進体制として検討
- ② 中期アクションプログラムに反映
- ③ 具体の取組検討時の参考とする
- ④ 引き続き情報整理を行う
- ⑤ 具体の取組検討時の参考とする

# 2 計画骨子 (案)

## (1) 計画構成 (案)

- (仮称) 第3次都心まちづくり計画では、都心まちづくりの理念を「世界が憧れ、市民が誇れる、札幌・北海道の都心」と定め、理念に基づく3つの目標を定めることを想定している。
- 本日は、この3つの目標のうち、目標2に係る取組の方向について、意見交換を行う。
- なお、計画全体の素案については、本日の検討部会の議論も踏まえ、引き続き検討を進める。

### 計画構成案



### 本日の論点

- 論点1**
- 計画骨子案(目標、基本方針等)について
- ・目標について・・・P.8
  - ・基本方針について・・・P.9
  - ・基本方針1の取組の方向・P.10～11
  - ・基本方針2の取組の方向・P.12～13
  - ・基本方針2の取組の方向・P.14～15
- 論点2**
- 重点取組路線の設定について
- ・都心の骨格構造について・P.16
  - ・設定に向けた検討の流れ・P.17
  - ・回遊・滞在機能の評価・・・P.18
  - ・通行機能の評価・・・P.19
- 【参考資料】
- ・検討にあたり必要な要素・P.22～26
- 論点3**
- 目標の評価指標の設定について
- ・評価の視点と評価指標・・・P.20

## 2 計画骨子（案）

### (2) 目標（案）・・・第3章

- 前回お示した基本的な考え方や基本方針は変えずに、下記のとおり目標を再検討した。
- 今後、市民等多くの方にわかりやすいイメージパースを作成するほか、目標についても引き続き検討する。
- また、目標に応じた評価指標（案）を以下のとおり検討した。（詳細はP.20参照）

#### 目標2

#### 冬でも、誰でも、まち巡りが楽しい都心（暫定案）

「春季・夏季・秋季はもとより、積雪のある冬季においても、訪れる人それぞれが安心・快適に過ごせ、交流できる居場所があり、歩きやすく、街にみどりやにぎわい、変化が感じられ、自然に回遊し楽しめる都心」

（前回案）「四季を通じて居心地が良く歩きたくなる都心」  
※市民、関係者にわかりやすいものを引き続き検討する。

#### 評価指標（案）

まち歩きが楽しめる通りや場所が多いと評価している人の割合

#### 【基本的な考え方（案）】

##### ◆ストリート（※）における四季を通じた多様な活動の創出 ※街路のみならず沿道等も含む

・積雪寒冷地の特性を踏まえつつ、官民が持つ様々なパブリックスペース（公共的空間）を一体的に捉え、人と人の出会い、滞留、交流、自己表現などの「多様な活動が生まれる魅力的な空間」に改変するとともに、空間を「柔軟に活用できる仕組み」を構築する。

##### ◆様々な活動を支える安全・安心かつ円滑な交通環境の構築

・都心における人やモノの「移動環境」、人々の乗降や荷さばきなどの沿道への「アクセス環境」の向上を図り、空間を「効果的・効率的に運用できる仕組み」を構築する。

#### 【基本方針（案）】

##### 【基本方針1】

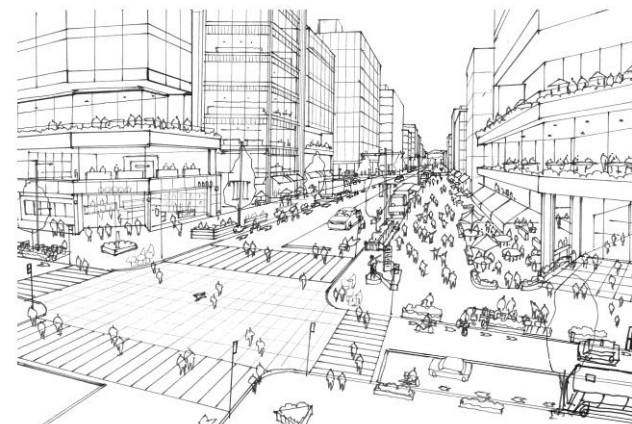
札幌都心ならではの  
「魅力的なストリートの形成」

##### 【基本方針2】

都心のまちづくりを支える  
「機能的な交通環境の構築」

##### 【基本方針3】

多様な活動や交通環境を充実させる  
「戦略的なマネジメント」



【図】 将来像イメージパース

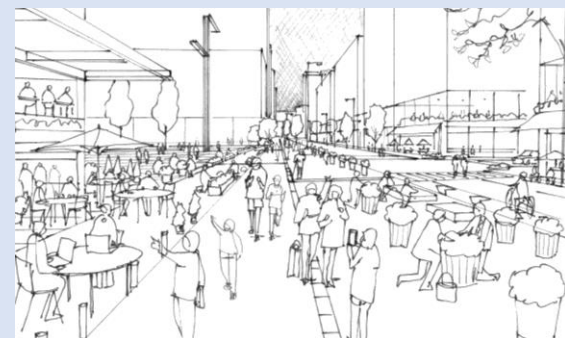


## 2 計画骨子（案）

### (3) 基本方針（案）・・・第4章

#### 【基本方針1】 札幌都心ならでの「魅力的なストリートの形成」

- ① 格子状の街路網の特徴を生かした、ストリートの魅力や個性の向上
- ② 選択性が高く、多様性に富み、みどり豊かな、回遊したくなるストリートの形成
- ③ 積雪寒冷地ならでの屋外空間における魅力的な景観形成や賑わいの創出



【図】 将来像イメージ(暫定版)

#### 【基本方針2】 都心のまちづくりを支える「機能的な交通環境の構築」

- ① 都心に必要な交通機能(※1)やアクセス環境(※2)の確保  
※1 交通機能:ヒトやモノが移動するための機能(徒歩、自転車、公共交通、乗 用車、貨物車等による目的地までの移動。駐車施設等も含む)  
※2 アクセス環境:人々の乗降やに荷捌きなどの沿道にアクセスするための機能
- ② 四季を通じて快適に移動できる環境の充実



【図】 将来像イメージ(暫定版)

#### 【基本方針3】 多様な活動や交通環境を充実させる「戦略的なマネジメント」

- ① パブリックスペースにおける多様な活動や魅力的なコンテンツの創出による賑わい・交流の促進
- ② 雪という札幌の個性を生かした、パブリックスペースの冬の利活用の促進
- ③ 限られた道路空間の運用の全体最適化
- ④ 関連分野と連携した取組



【図】 将来像イメージ(暫定版)

## 2 計画骨子（案）

### (4) 取組の方向（案）・・・第4章

#### 【基本方針1】 札幌都心ならではの「魅力的なストリートの形成」

#### 1-① 格子状の街路網の特徴を生かした、ストリートの魅力や個性の向上

##### 取組の方向

##### ◆ 回遊の基軸となる象徴的なストリートの形成

(取組例)

- ✓ 骨格軸などの主要な通りの更なる魅力化
- ✓ エリアのまちづくり活動や開発の機運などを踏まえた魅力的なストリートの形成



【参考イメージ】ランブラス通り（バルセロナ市）

##### ◆ 街路と沿道が一体となった魅力的な街路空間の形成

(取組例)

- ✓ 既存の沿道状況や建替え等に合わせた街路空間の検討（必要に応じて道路空間再編の検討など）
- ✓ 沿道と道路を一体的に捉えた空間のデザイン（沿道建物低層階のガラス張り化など）
- ✓ 沿道の路面店等による道路空間の一体的な利用（オープンカフェ、緑化など）



【参考イメージ】サンキタ通り（神戸市）

##### ◆ 見通しの良さを生かした通りの景観形成や交差点における辻空間の魅力の向上（線と点のデザイン）

(取組例)

- ✓ 遠景、奥行き感、丁字路のアイストップ等を生かした空間デザインの検討
- ✓ エリアや路線の特徴を踏まえた交差点の特徴付け（緑化、ゆとりのある空間など）
- ✓ 路線や区間によって変化のある空間形成（沿道も含めた緑化、舗装材等によるデザインの工夫など）



【参考イメージ】北3条広場

## 2 計画骨子（案）

### (4) 取組の方向（案）・・・第4章

#### 【基本方針1】 札幌都心ならではの「魅力的なストリートの形成」

#### 1-② 選択性が高く、多様性に富み、みどり豊かな、回遊したくなるストリートの形成

##### 取組の方向

#### ◆ 季節や天候、目的等による選択性が高い、滞在空間や回遊動線の創出

(取組例)

- ✓ 屋外環境に左右されにくい屋内や半屋内の滞在空間の創出（地下、公開空地等）
- ✓ 公園、道路や民間敷地内におけるみどり豊かな空間の充実
- ✓ 界隈性や奥行きを出すための中通りの魅力化や敷地内貫通通路の整備誘導



【参考イメージ】  
チ・カ・ホ



【参考イメージ】  
モントルグイユ地区（パリ市）

#### ◆ パブリックスペースにおける滞留や交流などの多様な活動ができる空間の創出

(取組例)

- ✓ 立ち止まる、座る、食べる、遊ぶ、買い物をする、パフォーマンスをするなどの多様な活動が行える空間の整備



【参考イメージ】大通公園（実証実験）

#### 1-③ 積雪寒冷地ならではの屋外空間における魅力的な景観形成や賑わいの創出

##### 取組の方向

#### ◆ 積雪期の魅力と賑わいも考慮した札幌都心ならではのストリートの形成

(取組例)

- ✓ 公共空間等における冬の魅力的な街並みの創出（雪や光などを活かした空間演出）
- ✓ 街並みを眺められる空間の充実（沿道のカフェ、公開空地など）



【参考イメージ】札幌駅前通

#### 【基本方針2】 都心のまちづくりを支える「機能的な交通環境の構築」

#### 2-① 都心に必要な交通機能(※1)やアクセス環境(※2)の確保

※1 交通機能：ヒトやモノが移動するための機能（徒歩、自転車、公共交通、乗用車、貨物車等による目的地までの移動。駐車施設等も含む）

※2 アクセス環境：人々の乗降やに荷捌きなどの沿道にアクセスするための機能

#### 取組の方向

##### ◆ 各路線相互の機能分担と各路線における必要な機能の配置

(取組例)

- ✓ 各エリアや各路線における必要な機能の配置

##### ◆ 都心を目的地としない通過交通の適切な誘導等

(取組例)

- ✓ 交通機能が重視される路線の交通円滑化

##### ◆ 都市活動を支える、荷さばきや人々の乗降などの空間の確保

(取組例)

- ✓ 民間開発との連携による交通施設の整備（共同荷さばき場、観光バス乗降場等）
- ✓ 路上荷さばき場、バス停、タクシー乗降場などの必要な空間の確保
- ✓ 荷さばきの効率化に資する取組の誘導（大型施設における館内物流体制の構築、荷さばき規制緩和区間の適正利用促進など）
- ✓ 既存の駐車施設の利用分散等による混雑の緩和



## 2 計画骨子（案）

### (4) 取組の方向（案）・・・第4章

#### 【基本方針2】 都心のまちづくりを支える「機能的な交通環境の構築」

#### 2-② 四季を通じて快適に移動できる環境の充実

##### 取組の方向

##### ◆ 安全・安心かつ円滑な歩行者動線の充実

(取組例)

- ✓ 北海道新幹線札幌延伸を見据えた、駅から都心各所への移動経路の充実
- ✓ 歩行者動線の更なるバリアフリー化（官民連携による地下歩行ネットワークの拡充、地上・地下動線の充実など）



【参考イメージ】北8西1地下通路

##### ◆ 広域交通結節点と都心内の移動手段との接続の円滑化

(取組例)

- ✓ 各交通との接続環境の充実（地下鉄、鉄道（JR）、バス、タクシー、新たな公共交通、シェアサイクルなど）
- ✓ 情報提供の充実（案内サイン、ICTを活用した情報発信など）

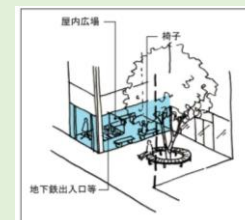


【参考イメージ】シェアサイクルポート

##### ◆ 公共交通などの待合い、休憩環境の充実

(取組例)

- ✓ 沿道施設への待合いスペースの整備誘導など
- ✓ 移動途中における屋外の暑さや寒さをしのぎ、休憩できる空間の充実（クーリングシェルターなど）



【参考イメージ】屋内広場（札幌市資料）

## 2 計画骨子（案）

### (4) 取組の方向（案）・・・第4章

#### 【基本方針3】 多様な活動や交通環境を充実させる「戦略的なマネジメント」

### 3-① パブリックスペースにおける多様な活動や魅力的なコンテンツの創出による賑わい・交流の促進

#### 取組の方向

#### ◆ エリアや建物等のコンセプトに合ったパブリックスペースの多様な利活用の促進

(取組例)

- ✓ 規制緩和や利活用ルールの特典化（公共空間の占有許可基準の特典化や公開空地活用のルールの特典化の検討、検証のための社会実験の実施など）



【参考イメージ】南1条通社会実験

#### ◆ 柔軟かつ持続可能な利活用を実現する仕組みや体制の構築と情報発信

(取組例)

- ✓ まちづくりのプレイヤーの発掘・育成（社会実験等を通じた取組）
- ✓ 運営主体の資金確保（広告等による収益を得られる仕組みの検討）
- ✓ 市内外への積極的な情報発信（機運醸成やプレイヤー発掘の視点）



【参考イメージ】エリマネ広告

### 3-② 雪という札幌の個性を生かした、パブリックスペースの冬の利活用の促進

#### 取組の方向

#### ◆ 冬季の屋外空間や屋内空間の柔軟な利活用

(取組例)

- ✓ 歩道に面した屋内や半屋内の広場、地下空間や屋内の公開空地等の利活用の促進
- ✓ 雪を活かした特徴的なイベント実施等の促進



【参考イメージ】モユクサッポロ（公開空地の活用）

## 2 計画骨子（案）

### (4) 取組の方向（案）・・・第4章

【基本方針3】 多様な活動や交通環境を充実させる「戦略的なマネジメント」

#### 3-③ 限られた道路空間の運用の全体最適化

##### 取組の方向

- ◆ 求められる様々なニーズに対する既存道路の利活用の工夫や道路の構築・再編等

（取組例）

- ✓ さっぽろシャワー通り（荷さばきや歩行者のニーズに対応した一事例）



【取組イメージ】  
さっぽろシャワー通り

#### 3-④ 関連分野と連携した取組

##### 取組の方向

- ◆ 健康（ウェルネス）や脱炭素（エネルギー）施策等への波及

（取組例）

- ✓ 来街者の歩行数増加による健康増進
- ✓ 公共交通の利用促進や交通の円滑化等による二酸化炭素排出量の削減 など



【取組イメージ】  
南1条通社会実験

# 3 重点取組路線の設定の検討

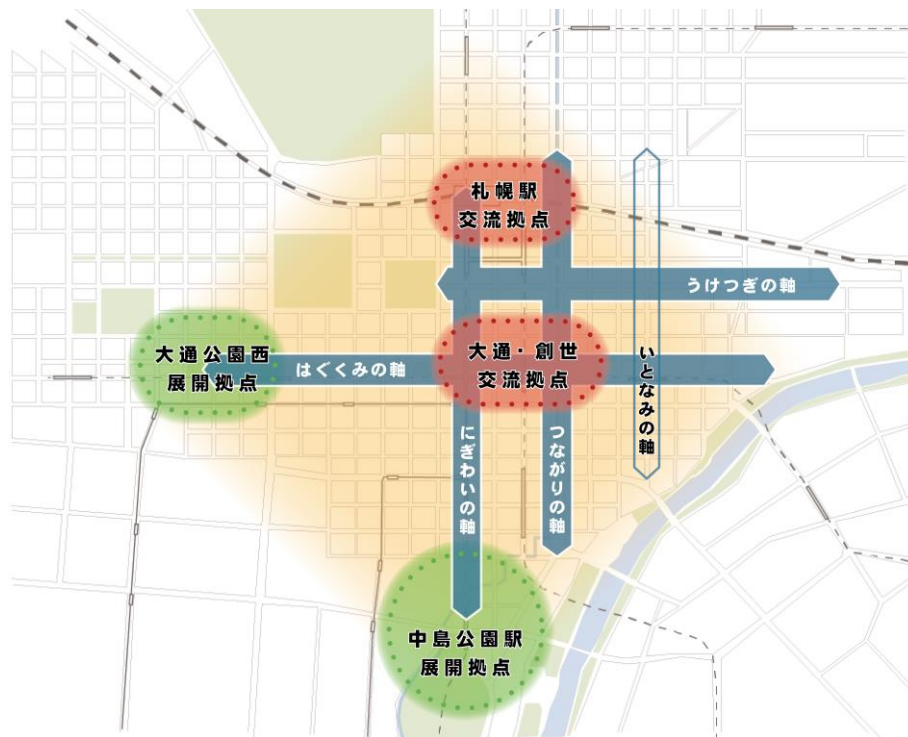
## (1) 都心の基本構造（案）

### 【軸】 4骨格軸-1展開軸を継承

○先導的な取組をさらに推進し、周辺街区への面的な波及、地区間の連続性を高める基軸として、現行計画を継承。

### 【拠点】 2交流拠点+2展開拠点の設定

- 現行計画の2つの交流拠点は、都心全体のまちづくりを先導する取組を推進するため、引き続き設定。
- 都心及び骨格軸の西端と南端にあたる2拠点は、地域特性を活かしたまちづくりを重点的に展開していく必要があり、新たな活動・交流を育む「展開拠点」として追加。



【図】 都心の骨格構造（案）

### 【軸と拠点の目指す方向】

骨格軸	にぎわいの軸 (駅前通)	札幌の目抜き通りとして、都心の回遊性をけん引し、にぎわいをつなぐ軸
	はぐくみの軸 (大通)	大通公園と沿道が一体となり、札幌都心の象徴性を高め、新たな価値をはぐくむ軸
	つながりの軸 (創成川通)	広域から都心へのアクセスを支えながら、親水空間による東西のまちのつながりを生む軸
	うけつぎの軸 (北3条通)	街並みや文化の魅力が東西を巡り、歴史的価値をうけつぐ軸
展開軸	いとなみの軸 (東4丁目線)	交流と活気にあふれる沿道から職・住・遊のいとなみを感じる軸
交流拠点	札幌駅 交流拠点	広域的な交通網が結節する札幌の玄関口として国際競争力を先導する拠点
	大通・創世 交流拠点	札幌都心における象徴的な都市文化を育成し、新たな活動や交流を生み出す拠点
展開拠点	大通公園西 展開拠点	美しいみどりや歴史・文化芸術を生かした多様な交流を創出する拠点
	中島公園駅 展開拠点	地域に培われた歴史・文化と新たな集客・交流機能が調和し、多様な活動を育む拠点

※検討会において継続検討



# 3 重点取組路線の設定の検討

## (2) 回遊・滞在機能、通行機能による評価（案）

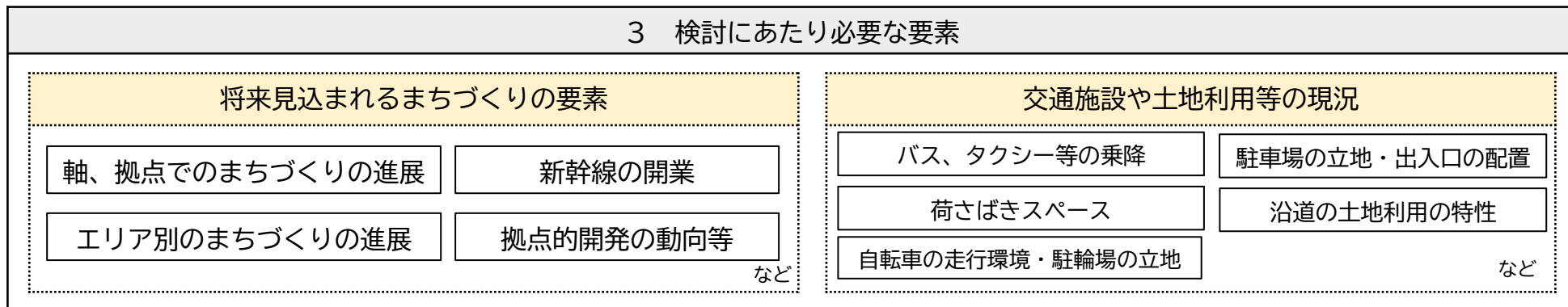
○ 都心の基本構造等を踏まえつつ、下記の視点で各路線の性格付けを整理したうえで、重点取組路線や各施策の検討を進める。

### ◆検討の流れ

分類	1 回遊・滞在機能による評価（案）・・・P.18	2 通行機能による評価（案）・・・P.19
評価の視点	歩行者の回遊や滞在機能について、主に下記の視点から重要度を総合的に評価 ① 主要施設・オープンスペース等（参考資料P.23参照）を結ぶ経路 ② 地上・地下の重層的な歩行者ネットワーク基盤整備の状況 ③ みどりづくりや景観形成等のまちづくりが進められている通りやエリア等 ④ 歩行者交通量	自動車（公共交通含む）の通行機能について、主に下記の視点から重要度を総合的に評価 ① 都心外相互を結ぶ経路で都心を通過することが必要かつ合理的な移動経路として特に重要なもの ② 都心内の移動経路として特に重要なもの（公共交通の経路等） ③ 自動車交通量



### 3 検討にあたり必要な要素



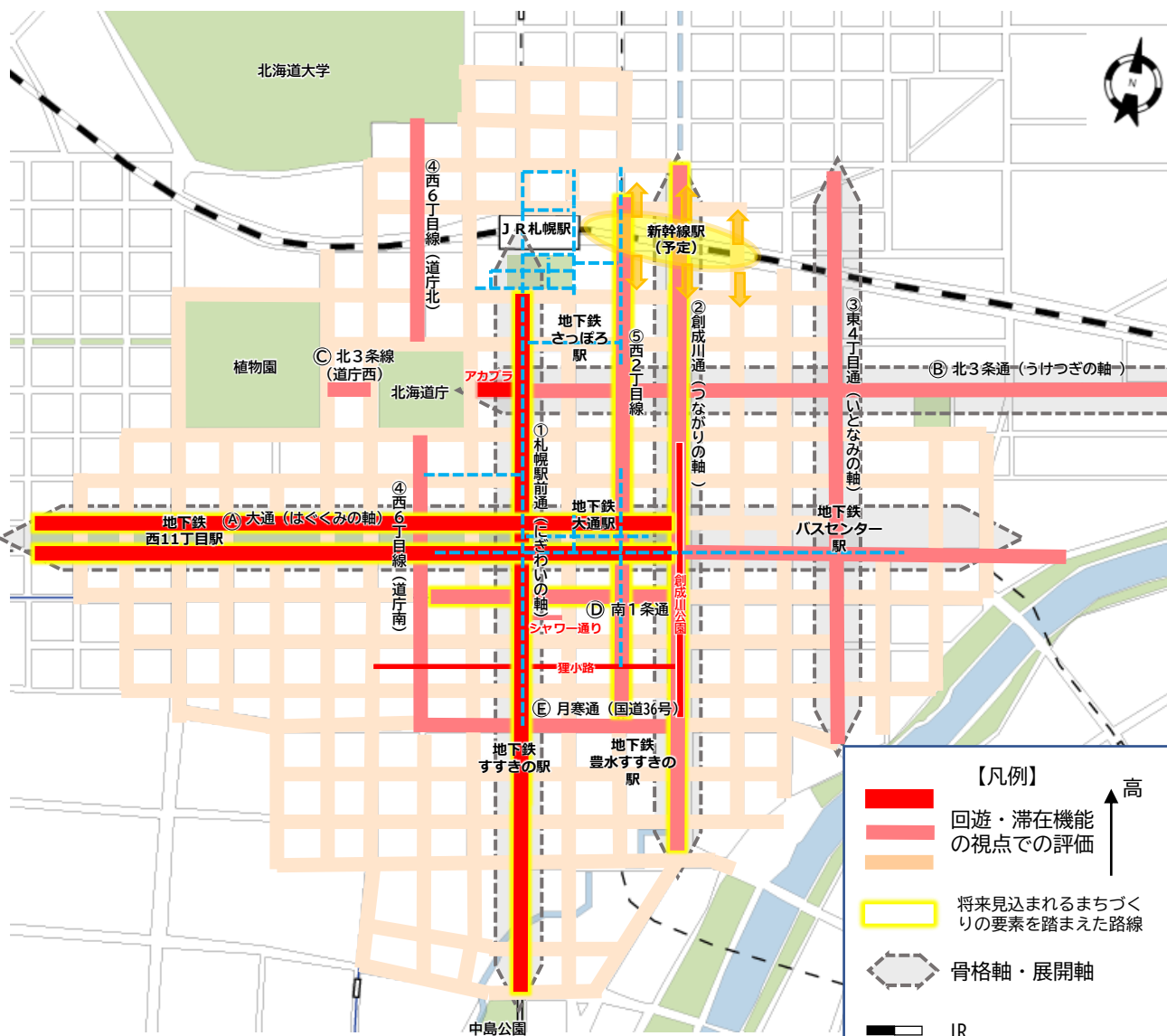
目標2の実現に向けた「重点取組路線」を位置付け（計画）

※本日の議論を踏まえ、次回以降に案を提示

各路線の具体的な施策等について検討（中期アクションプログラム）

# 3 重点取組路線の設定の検討

## (3) 回遊・滞在機能の視点での評価 (案)



【図】回遊・滞在機能の視点での評価 (案)

### ◆南北方向の通り

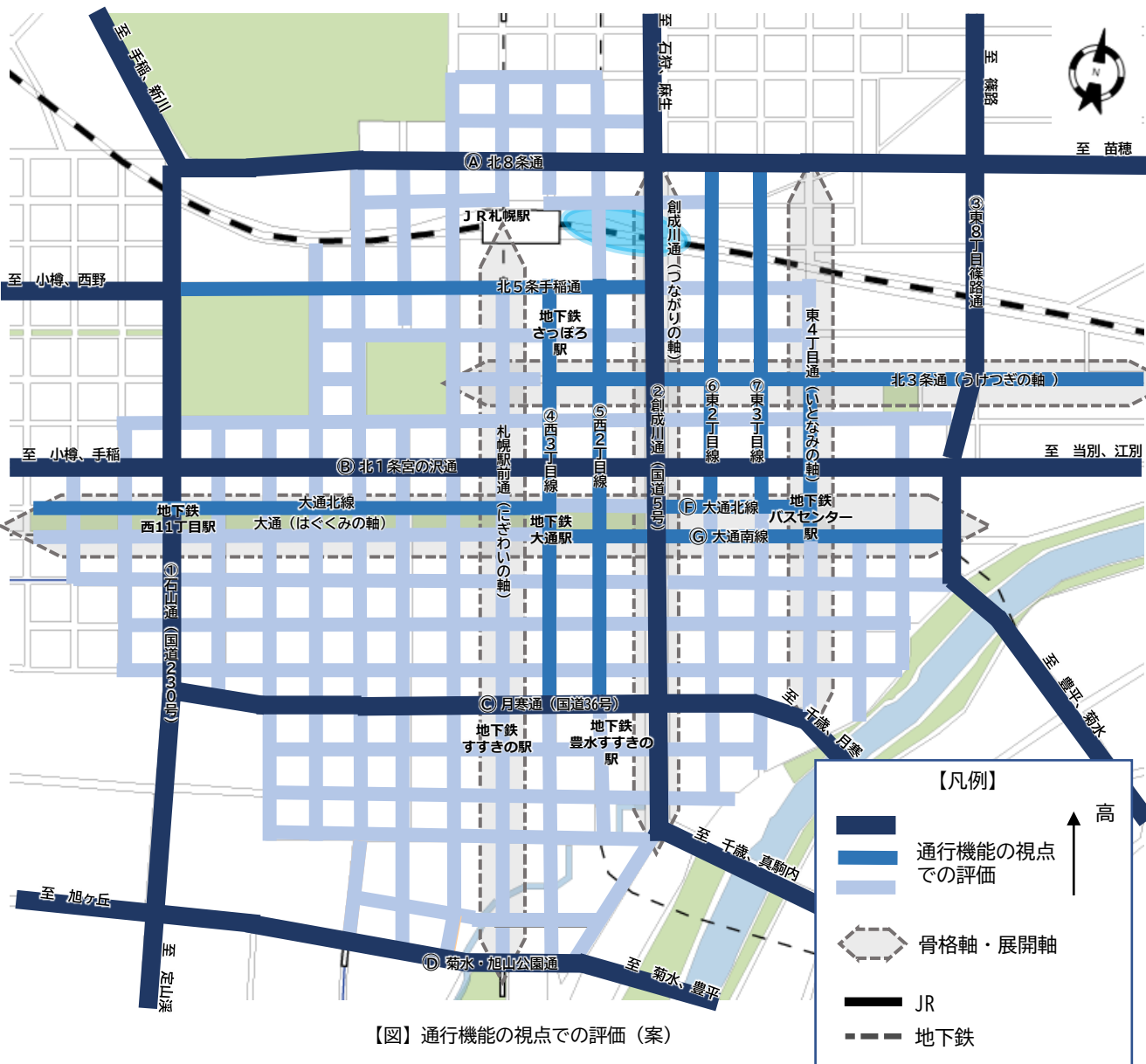
主な通り	評価の主なポイント
①札幌駅前通 (にぎわいの軸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌駅、大通、狸小路、すすきの、中島公園を結ぶ象徴的な通り</li> <li>地下空間 (チカホ及び地下街) の充実と地上部の歩行者空間拡充</li> <li>みどりづくり方針、札幌市景観計画等での位置付け</li> </ul>
②創成川通 (つながりの軸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線駅 (予定) ~ 二条市場 ~ 創成川公園を結ぶ通り</li> <li>東西の隔たりを解消し連続性を高めるための重要な通り</li> <li>創成川公園や狸二条広場の存在</li> <li>みどりづくり方針において、重点エリアに位置付け</li> </ul>
③東4丁目通 (いとなみの軸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>創成東地区の中心に位置し、バスセンター前駅、開拓使麦酒醸造所跡 (現サッポロファクトリー) 等を結ぶ通り</li> <li>みどりづくり方針において、重点エリアに位置付け</li> </ul>
④西6丁目線 (道庁北)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北大、道庁、大通、狸小路を結ぶ通り</li> <li>みどりづくり方針において、みどりの補完軸に位置付け</li> </ul>
⑤西2丁目線	<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線札幌延伸や札幌駅バスターミナル開業等を見据えた主要な経路</li> <li>新幹線駅 (予定) から都心内へ導く南北方向の重要な経路</li> <li>地下鉄東豊線や西2丁目地下歩道など地下空間の存在</li> </ul>

### ◆東西方向の通り

主な路線	評価の主なポイント
④ 大通 (はぐくみの軸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>創成東地区からテレビ塔、資料館等を結び、札幌を象徴する大通公園が位置する通り</li> <li>地下街が整備済み (西1~西4)</li> <li>都心のみどりづくり方針、札幌市景観計画等において重要な位置付け</li> </ul>
⑤ 北3条通 (うけつぎの軸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道庁、北3条広場 (アカブラ)、開拓使麦酒醸造所跡 (現サッポロファクトリー)、旧永山邸、苗穂駅等を結ぶ通り</li> <li>みどりづくり方針において、重要エリアと位置付け</li> </ul>
⑥ 北3条線 (道庁西)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道庁、北大植物園を結ぶ通り</li> <li>みどりづくり方針において重要エリア</li> </ul>
⑦ 南1条通	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道には多彩な商業施設等が立ち並び</li> <li>札幌駅前通と南一条通をエリアの顔「Tゾーン」として位置付け</li> </ul>
⑧ 月寒通 (国道36号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすきの地区の玄関口。駅前通との交差点は、象徴的な場所として認知</li> <li>東西方向の回遊動線</li> </ul>

# 3 重点取組路線の設定の検討

## (4) 通行機能の視点での評価 (案)



【図】 通行機能の視点での評価 (案)

### ◆南北方向の通り

主な通り	評価の主なポイント
①石山通	<ul style="list-style-type: none"> <li>手稲方面や定山溪方面への経路として重要な路線</li> <li>国道230号(北1条通以南)</li> </ul>
②創成川通(つながりの軸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>石狩方面や真駒内方面への経路として重要な路線</li> <li>国道5号(北1条通以北)</li> <li>都心アクセス強化道路軸</li> </ul>
③東8丁目篠路通	<ul style="list-style-type: none"> <li>篠路方面や豊平方面への経路として重要な路線</li> </ul>
④西3丁目線 ⑤西2丁目線 ⑥東2丁目線 ⑦東3丁目線	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要なバス路線</li> </ul>

### ◆東西方向の通り

主な路線	評価の主なポイント
Ⓐ北8条通	<ul style="list-style-type: none"> <li>手稲方面や苗穂方面への経路として重要な路線</li> </ul>
Ⓑ北1条宮の沢通	<ul style="list-style-type: none"> <li>小樽方面や江別方面への経路として重要な路線</li> <li>国道230号(札幌駅前通以西)、国道12号(札幌駅前通以东)</li> </ul>
Ⓒ月寒通	<ul style="list-style-type: none"> <li>千歳方面への経路として重要な路線</li> <li>国道36号(札幌駅前通以东)</li> </ul>
Ⓓ菊水・旭山公園通	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭ヶ丘方面や豊平方面への経路として重要な路線</li> </ul>
Ⓔ北5条手稲通 Ⓕ大通北線(一部) Ⓖ大通南線(一部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要なバス路線</li> </ul>

## 4 評価指標（案）

### (1) 評価の視点と評価指標（案）

○ 目標2について、下記の視点で評価指標の検討を引き続き進める。

#### ◆ 評価の視点と評価指標（案）の候補

評価の視点	評価指標（案）	調査方法
① 来街者からの評価	<b>評価指標（案）</b> 「まち歩きが楽しめる通りや場所が多い」と評価している人の割合	アンケート調査
	「気軽に休憩・滞在ができる場所が充実し、利用しやすい」と評価している人の割合	同上
② 回遊性	主要地点における歩行者交通量	現地調査
	シェアサイクルの利用回数	事業者データ
③ にぎわい・交流	主要駅における乗降者数	統計データ等
	来街者の滞在時間	ビッグデータ ※要検討

## 本日、ご議論いただきたいこと（再掲）

【論点1】 計画骨子(案)について・・・P.7～15

→ 目標、基本方針、取組の方向についてのご意見 など

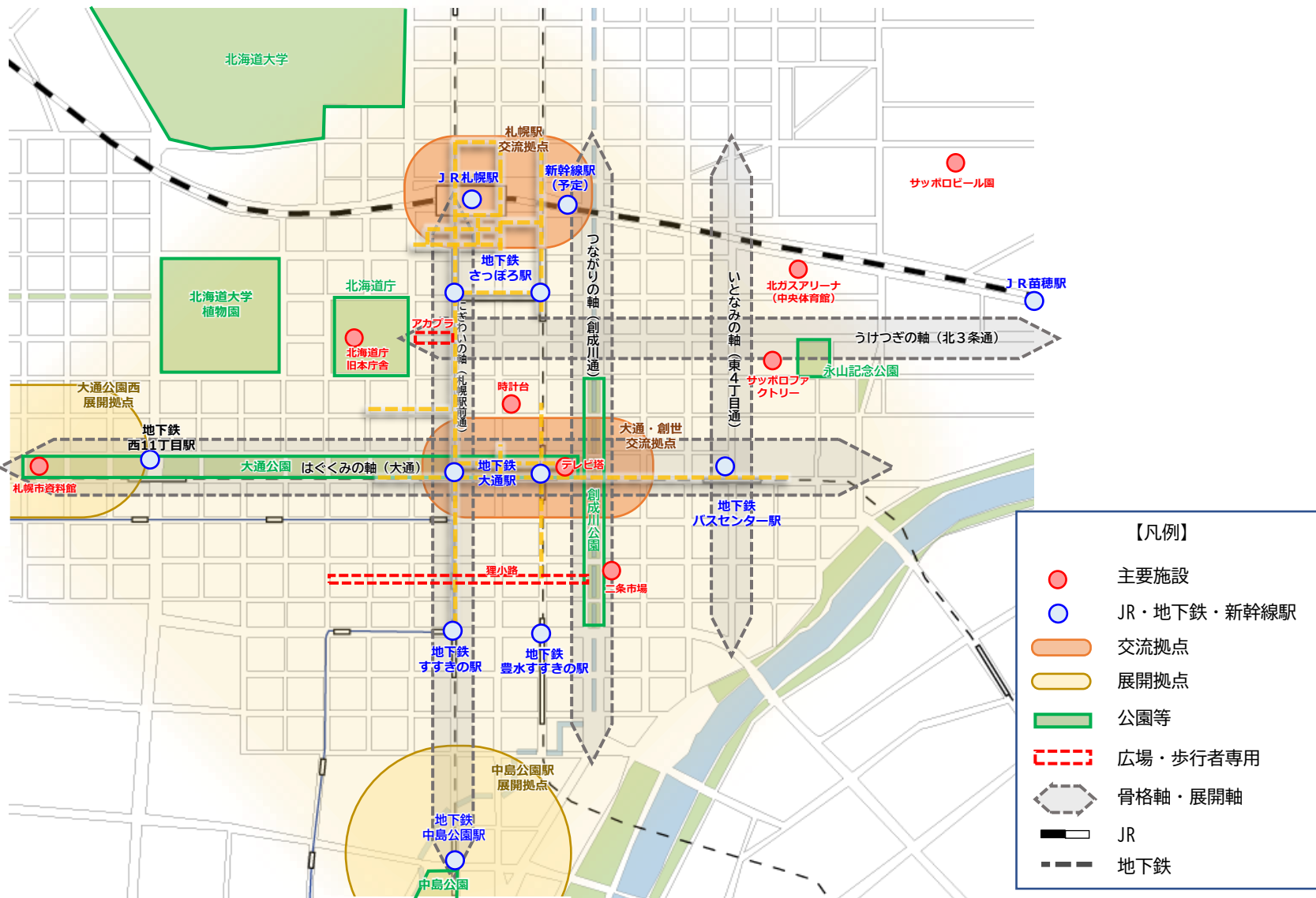
【論点2】 重点取組路線の設定の検討について・・・P.16～19

→ 評価の視点や評価結果(案)へのご意見 など

【論点3】 評価指標(案)について・・・P.20

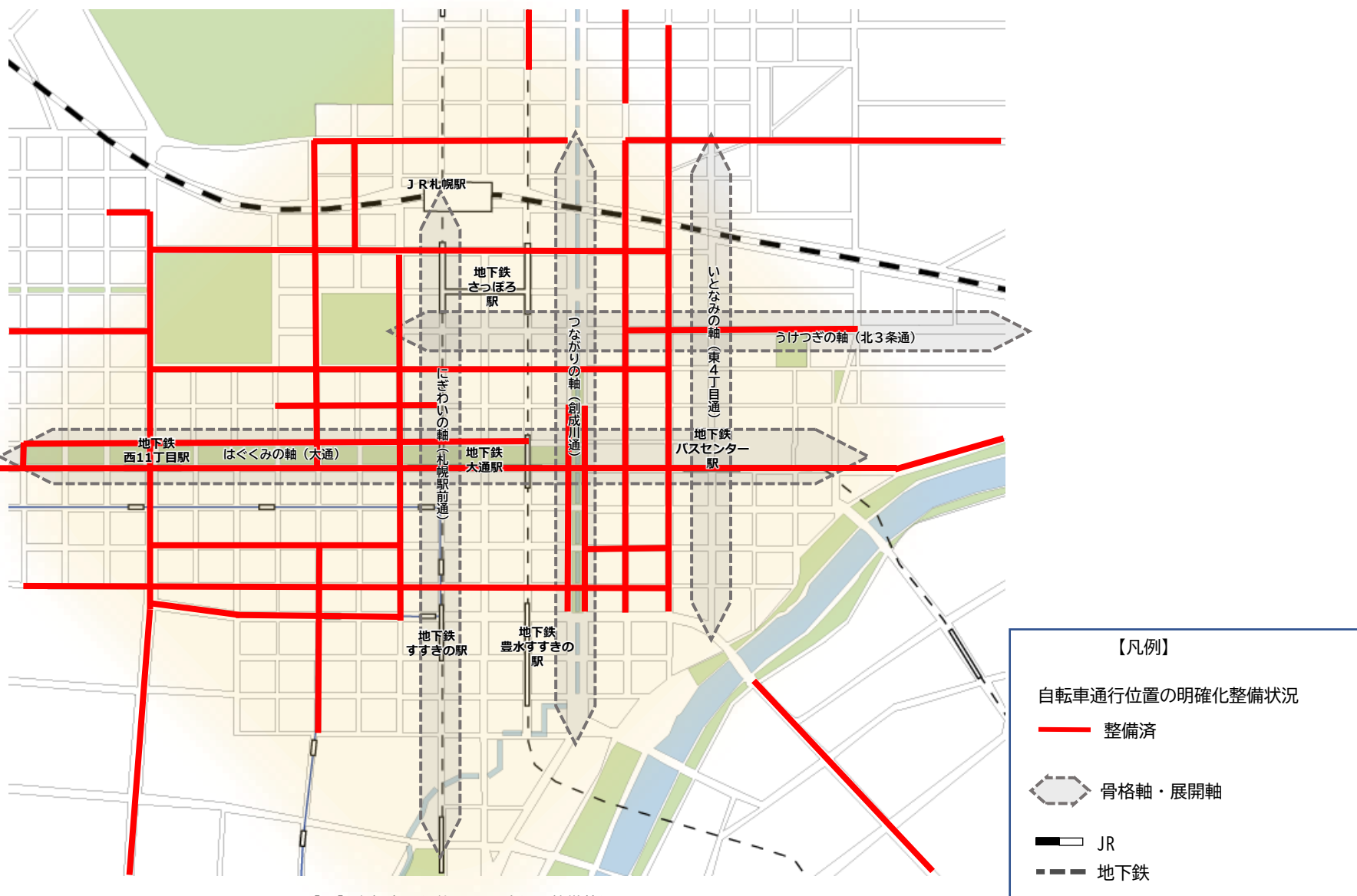
→ 目標を評価するための指標へのご意見 など

# 【参考資料】基礎情報（主要目的地等）



【図】基礎情報（主要目的地等）

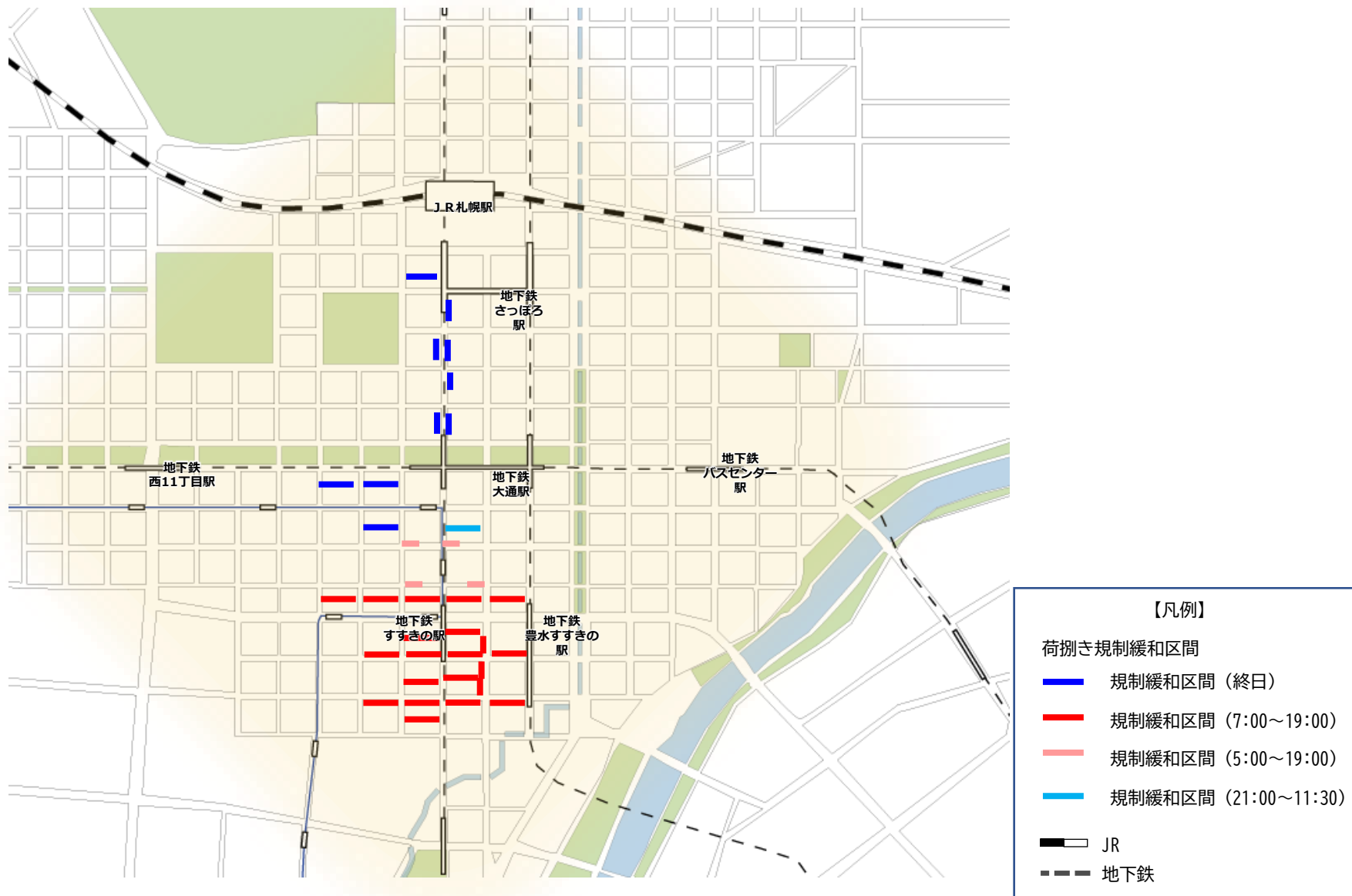
# 【参考資料】自転車通行位置の明確化 整備状況図 (R6.3現在)



【図】自転車通行位置の明確化 整備状況



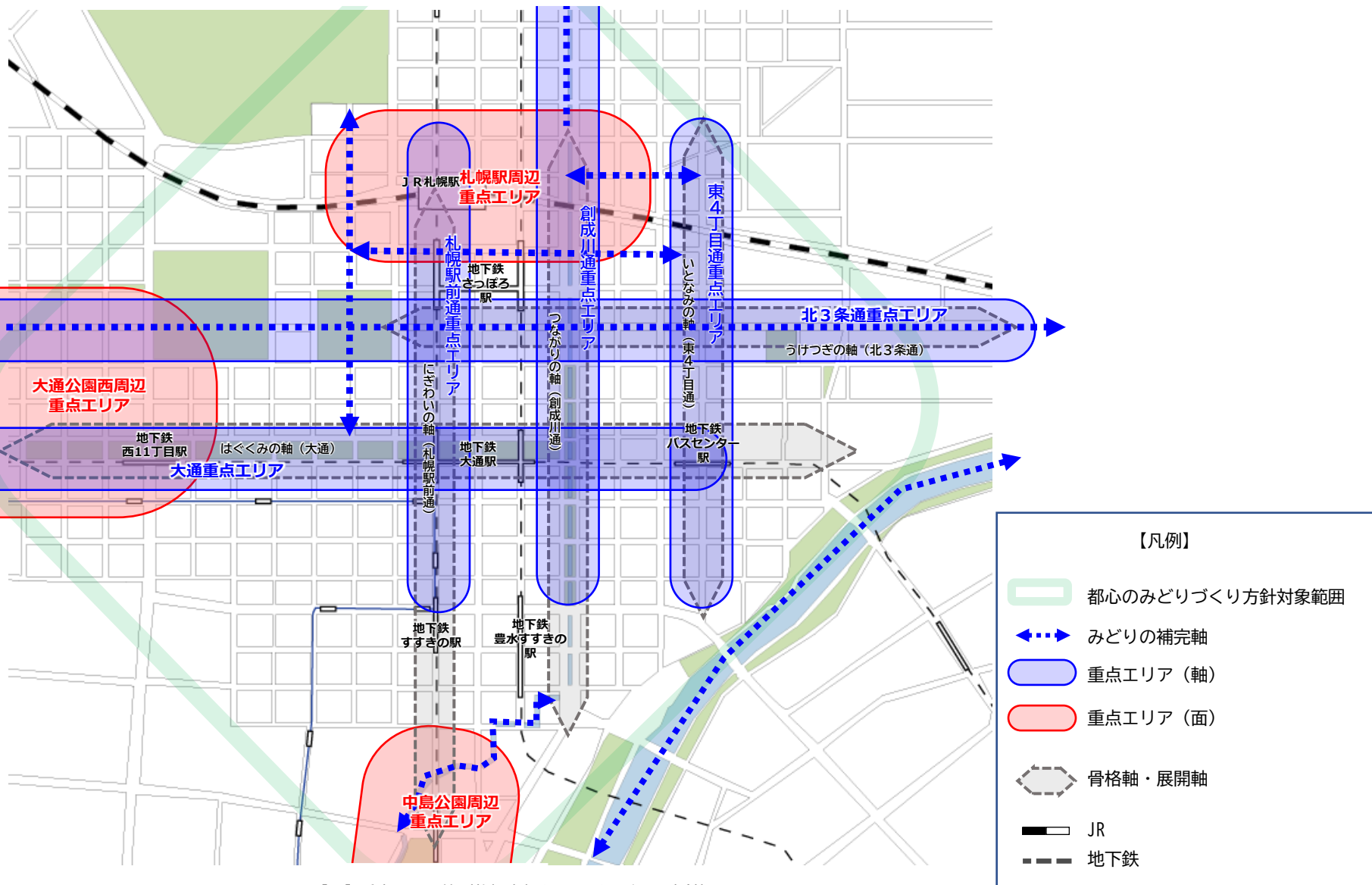
# 【参考資料】荷さばき規制緩和区間



【図】荷さばき規制緩和区間

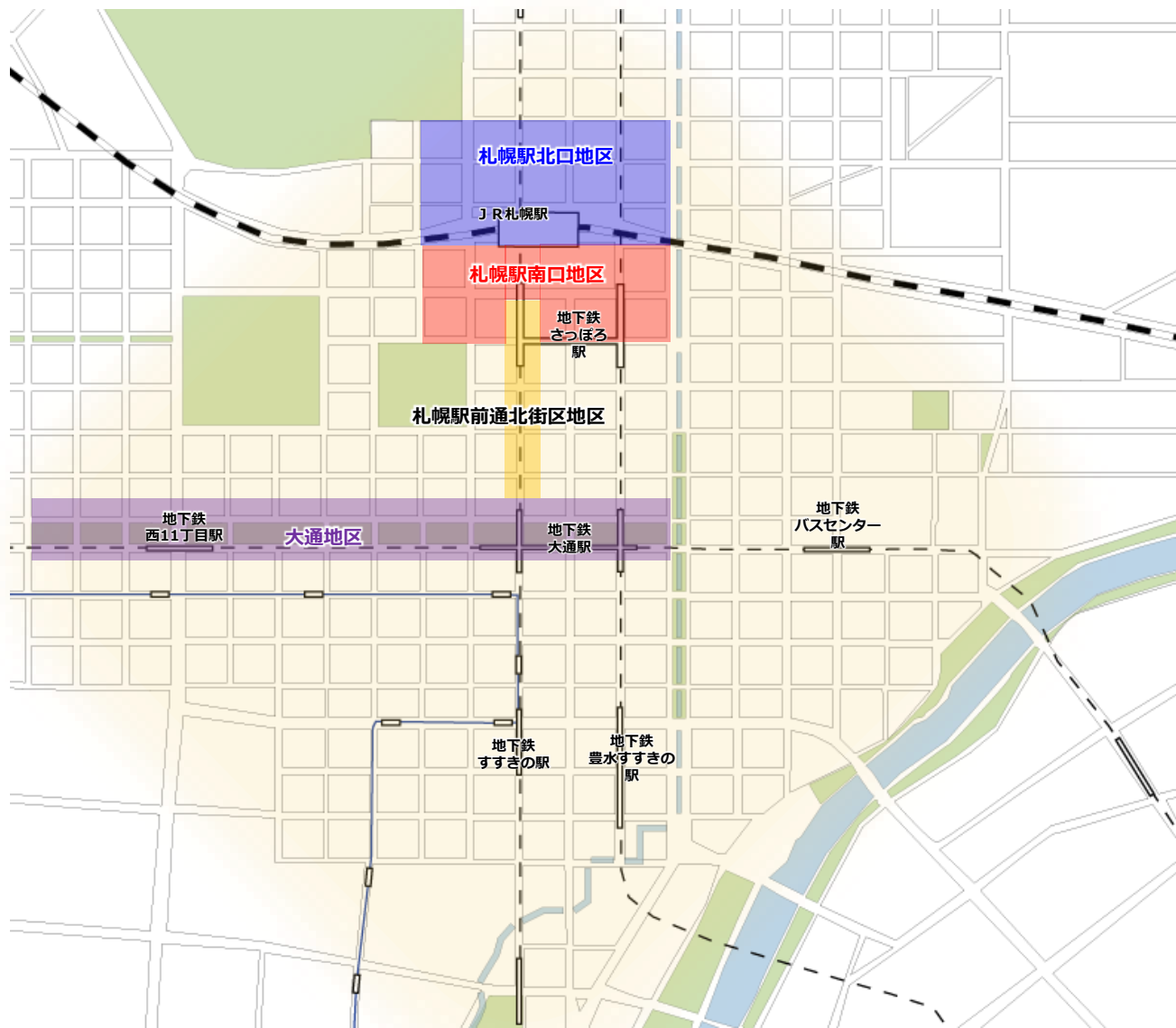


# 【参考資料】札幌市都心のみどりづくり方針の重点エリア等



【図】重点エリア等（札幌市都心のみどりづくり方針）

# 【参考資料】景観計画重点区域（札幌市景観計画）



【図】景観計画重点区域（札幌市景観計画）